北陸支部報

2022/1/13
第 17 号

目　　次

年頭のご挨拶　（公社）日本測量協会北陸支部　鹿田支部長・・・・・・1
年頭のご挨拶　国土地理院北陸地方測量部　伊藤純一部長・・・・2
支部役員会開催・・・・・・

年頭のご挨拶

（公社）日本測量協会北陸支部長
鹿　田　正　昭

新年明けまして、おめでとうございます。令和４年（2022 年）新年の年頭にあたり、皆様とともに謹んで初春をお祝いいたします。

北陸支部の皆様方には平素から測量系を含む地理空間情報を中心として、多くのご支援とご協力を賜っておりますことに対し、衷心より厚く御礼を申し上げます。

さて、令和 3 年後半は新型コロナ感染症も少し落ち着きを見せたかのように思われましたが、新たなオミクロン株の出現により先が見通せない状況になっています。一昨年は開催を断念した空間情報技術事例発表会は、昨年は全国的に感染者が多い 7 月ではありましたが参加者を限定し、感染対策を万全にして実施いたしました。

新型コロナ感染症は世の中の仕組みを大きく変えてしまいましたが、反面、With コロナ、アフターコロナ、ニューノーマルとして、新しい仕組みや取り組みも多く出現してきました。例えば、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する上で追い風になったことも事実です。

金沢工業大学においても遠隔授業をおこなわなければならないため、オンデマンド教材が充実し、ハイブリッド型の授業（対面かオンデマンドを選択する）が進むとともに、さらにハイフレックス型の授業（同じ授業を対面授業とオンライン授業および録画の３つから選択して受講できる方法）も採用されるようになりました。各位の企業におかれても、コロナ対策のためのデジタル改革、働き方改革が進んだことと推察しています。

さて、令和 3 年の業務報告会はオンラインでおこないましたが、前述のように空間情報技術事例発表会は感染対策を万全にして、一昨年は実施できなかった石川県で対面により実施しました（聴講者は約 70 名）。

発表者の情報についてはすでに北陸支部 HP などで公開していますのでご存知のことと思いますが、5 名の支部会員が発表され、最優秀賞には「3 次元計測の活用事例」のタイトルで発表された株式会社北日本ジオグラフィの中村誠さんが、優秀賞には「災害対応における 3 次元計測活用事例」のタイトルで発表された株式会社国土開発センターの池本涼太さんが選ばれました。最優秀賞および優秀賞に選ばれた方には、本部が主催する「空間情報技術事例報告集」への投稿をオブリゲーションとしています。惜しくも選外となられた方々も積極的に投稿されることを期待します。

今年の業務報告会および空間情報技術事例発表会は新型コロナ感染症の状況を見ながら、対面で福井県において開催する予定です。福井県の会員の皆様はもちろんのこと、その他北陸 3 県の方々からの積極的な発表・聴講を期待します。

最後になりましたが、日本測量協会および北陸支部の益々の発展と会員皆様方のご健勝とご活躍、さらにご家族の皆様のご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

金沢工業大学教育支援担当副学長

年頭のご挨拶

北陸地方測量部長
伊　藤　純　一

あけましておめでとうございます。

公益社団法人日本測量協会北陸支部及び会員の皆様には、日頃から国土地理院北陸地方測量部の業務にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴支部が、長きにわたり測量及び地理空間情報の普及発達を図り、国土の利用、整備又は保全に多大な貢献をなされていることに対し、心から敬意を表します。また、貴支部が事務局を務める「とやまみんなの地図作品展」でのとやま地図作品研究会長賞受賞作品が「第 25 回全国児童生徒地図優秀作品展」（事務局：当院）において国土交通大臣賞を受賞しました。これもひとえに貴支部のご尽力の賜です。

昨年は、一昨年以来の新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、国土地理院でも様々な行事について、中止や延期、ｗｅｂ開催などの対応を行いました。職場内においては基本的な感染対策の徹底のほか、時差出勤やテレワークを実施しています。

また、新型コロナウイルス感染症を契機とした非接触・リモート型の働き方への転換、抜本的な生産性や安全性向上を図るためのインフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）のより一層の推進が課題となっていることやデジタル庁発足など、社会のデジタル化が加速していくことが感じられてきています。

国土地理院では、これからの時代に向け「高精度の 3 次元地図情報の整備」と「国家座標の整備と啓発」に、これまで以上力を入れていきます。3 次元情報は、デジタルツインに必要不可欠なデジタル社会の基盤となる情報です。デジタルツインの地理空間情報は、「国家座標」への準拠が必須です。「国家座標」は、地殻変動の激しい我が国において様々な高精度測位サービスや地図情報の位置を整合させるために不可欠な位置情報の共通ルールです。国土地理では、「国家座標」を適切に整備・維持管理するとともに、その重要性を啓発していきます。

「天災（災害）は、忘れた頃にやってくる」という戒めがありますが、ここ数年は「災害は忘れる前にやってくる」時代になってきています。

近年の激甚化・頻発化する自然災害から国民の命と暮らしを守るため国土地理では、国土を「計る」「描く」「守る」「伝える」という 4 本の施策を柱として業務に取り組んでいます。災害リスクの明確化や迅速な災害状況の把握が可能となる地理空間情報の整備・提供、迅速な復旧・復興に資するため災害発生時においても電子基準点網による地殻変動監視や位置情報サービスの継続、過去の被災状況を伝える自然災害伝承碑の活用推進、土地の成り立ちやその土地の持っている自然災害リスクを示す地形分類データなどの整備・更新を進め、地域における防災意識の向上と、減災に向けた取組や地理教育・防災教育への支援を行っています。今後も、強靱な国土づくりのための防災・減災に資する取組を一層進めていきます。

おわりに、日本測量協会北陸支部の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

北陸支部役員会開催

12 月 14 日（火）にオンラインで北陸支部役員会を開催しました。この役員会は、北陸支部の今年度事業の中間報告及び次年度の事業計画（案）の概要について役員の皆さんに報告し、意見を伺うものです。

今年度の講習会実施状況は、COVID-19 の影響により中止となった講習会はありませんでしたが本部主催の測量士、測量士補答案練習セミナーを 6 月にオンデマンド方式及びＤＶＤ方式により実施したところです。また、講習会計画人員より講習会参加人員の方が多く、多くの方に参加していただきました。

北陸支部の会員状況は、令和 3 年度１２月末現在、正会員、準会員、特別会員の総数が７１７名となっております。ここ数年の会員総数が７３０人位前後で推移していましたが、令和３年３月末と比較すると１４名の減少です。高齢のため仕事からリタイヤされた方が多かった事、講習会の申込と同時入会する人数が少なかったためです。今後、入会していただく方が増えるように一層ＰＲ等を行っていきます。

次年度事業計画（案）は、ほぼ今年度と同様の講習会或いは行事等を、開催場所を変えて行っていくこととしています。

来年度の講習会は、要望が多い実習を伴うＵＡＶ取得データ関連の講習会を３コース計画しています。

業務報告会は、福井県国際交流会館にて 7 月 12 日の開催を予定しています。業務報告会終了後同会場で引き続き空間情報技術事例発表会を開催する予定です。空間情報技術事例発表会には、昨年度 COVID-19 の影響により参加を見合わせた学生の方の参加も予定しております。

「公共測量講習会（福井会場）」開催される

日本測量協会測量技術センターでは、「公共工事の品質確保の促進に関する法律「品確法」(平成 17 年制定)」、「地理空間情報活用推進基本計画(平成 29 年第 3 期策定)」を受けて、国および地方公共団体等が作成する公共測量成果の地理空間情報の基盤データとしての利活用の推進をお手伝いするため、測量計画機関の公共測量担当者を対象とした、「公共測量講習会」を毎年全国各地で開催しています。公共測量に対する理解を深めていただき、更に測量成果の品質確保を図ることを目的としています。

北陸支部では、11 月 11 日(木)に福井県国際交流会館で「公共測量講習会(福井会場)」を開催しました。福井市の開催は、平成 29 年以来 2 回目の開催となります。

今回の講習会は、近畿地方整備局、国土地理院北陸地方測量部、福井県の後援を頂き、福井県内の国、地方公共団体の測量計画機関の実務者を対象としたものです。

講習会では、国土地理院北陸地方測量部の協力をいただき、部長から挨拶と公共測量の手続きについて説明があり、当協会からは基準点測量、用地測量、公共測量成果の品質確保について説明を行いました。

測量計画機関の担当者の方々にこのような機会を通じて公共測量への理解が深まることが期待されています。

講習会開催状況（令和３年度開催分）

開催日	講　習　会　名	会　場	参加者
4 月 23 日	測量数学・誤差学の基礎	新潟市（ユニゾンプラザ）	14 名
4 月 27 日	路線測量・用地測量	富山市(市町村会館)	15 名
5 月 25 日 5 月 26 日	初めての手軽な３Ｄ写真測量	金沢市(石川県地場産業振興センター)	8 名
6月1日～	測量士・測量士補答案練習セミナー	オンデマンド方式・ＤＶＤ方式	51 名
6 月 18 日	公共測量成果のまとめ方	富山市(市町村会館)	8 名
6 月 23 日	ＵＡＶ用いた空中写真測量	富山市(市町村会館)	17 名
7 月 1 日	電子基準点利用による基準点測量及びＧＮＳＳ水準測量	新潟市（ユニゾンプラザ）	18 名
7 月 8 日	ＵＡＶ取得データ用いた災害地の計測調査	新潟市（ユニゾンプラザ）	15 名
7 月 27 日	ネットワーク型ＲＴＫ法による基準点測量	金沢市(石川県地場産業振興センター)	11 名
8 月 17 日	GNSS による基準点測量	福井市(国際交流会館)	4 名
9 月 9 日	ＴＳによる３・４級基準点測量	新潟市（新潟ユニゾンプラザ）	12 名
10 月 1 日	測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	富山市(市町村会館)	19 名
10 月 5 日	実務者のための UAV 利活用セミナー	新潟市（新潟ユニゾンプラザ）	23 名
5 月 17 日 5 月 21 日	用地測量調査課程（Ⅰ）	富山市（測量会館）	4 名
8 月 24 日 8 月 30 日	基準点測量Ｂ課程（基準点コース）	富山市（測量会館）	7 名
9 月 13 日 9 月 17 日	用地測量調査課程（Ⅱ）	富山市（測量会館）	1 名

○「路線測量・用地測量」技術講習会

4 月 27 日に富山市にある「市町村会館」において、「路線測量・用地測量」の講習会を開催しました。

この講習会は、公共測量「作業規程の準則」及び「同記載要領」に基づき、路線測量及び用地測量に関する総則からメタデータの作成までのすべての作業工程について解説する内容であり、作業規程の内容の十分な理解、適正な運用、効率的な測量を実施する為に大変参考となるものです。

○「初めての手軽な 3D写真測量　」

5 月 25 日、26 日の 2 日間にわたり金沢市の「地場産業振興センター」において「初めての手軽な３Ｄ写真測量」講習会を開催しました。

市販のデジタルカメラを用いて実習型式により、実際に自ら撮影した画像をＳｆＭソフトを用いて画像処理し、ほぼ自動的に３Ｄモデルを作成するまでをデジタルカメラのキャリブレーション（レンズ歪みなどを定量的に分析）、撮影（室内）、３Ｄモデル作成に至るまでを学習する内容です。実際の作業に役立つ講習です。

○「ＵＡＶを用いた新たな計測技術とその利用」

10 月 5 日新潟市の「ユニゾンプラザ」において、「ＵＡＶを用いた新たな計測技術とその利用」セミナーを開催しました。このセミナーは、多発する地震や台風などへのＵＡＶを用いた対策事例を中心とした内容となっており、その利活用効果などを広く知ってもらうこと目的として、測量・地理空間情報分野の技術者や企業経営者、管理者などの実務者の方を対象に測量・地理空間情報分野の利活用の実態、事例を通じて情報提供する事を主眼として東京で行われたセミナーを収録した動画記録（ビデオ）を聴講しました。内容は、ドローンを用いた測量・調査における３次元データ利用、ＵＡＶ目視外飛行の最前線、農業・防災分野を対象とした利活用と 2022 年への改正に向けた最新動向、ＵＡＶ搭載型ＡＬＢ測量の最前線など多岐にわたるＵＡＶの最新の情報を提供しました。毎年リニューアルされた内容のセミナーとなっていますので来年のセミナーもご期待下さい。

○「測量・空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」

10 月 1 日富山市の「市町村会館」において、「測量・空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」を参加者 14 名により開催しました。

このセミナーは、一般社団法人富山県測量設計業協会と共催で開催となりました。日本測量協会及び各県測量設計業協会の会員は無料で参加できるセミナーとなっています。

日本測量協会では、会員の皆様に少しでもお役に立てられるセミナーの開催を目的に行っており、従前の「地理空間情報技術セミナー」「ＣＰＤ利活用セミナー」「スキルアップセミナー」のエッセンスをコンパクトに受講できるように 1 日にまとめセミナーです。「準則の最新動向、技術講習会等の活用ポイント」「ＵＡＶ・ＡＬＢの利活用とその動向」「技術提案書作成のコツ（私流）」「測量技術者が技術士を取得するために（私流）」「測量成果の品質管理等について」の講習が行われました。

行　事　等　の　報　告

○とやまみんなの地図作品展を開催

とやま地図作品研究会では、11 月 20 日から 23 日まで富山市のフーチャーシティ「ファボーレ」において、「第 15 回とやまみんなの地図作品展」を開催しました。

この作品展は、今年度の応募作品の中から入賞作品に選ばれた 14 点（小学生 10 点、中学生 4 点）を展示したもので毎年開催しています。

表彰式は、展示会最終日の 11 月 23 日にフーチャーシティ「ファボーレ」のファボーレホールにて行われました。最優秀作品の「とやま地図作品研究会長賞」には、小学生の部の富山市立堀川小学校 6 年生姫野理央さんの作品が選出されました。姫野さんの作品は、茨城県つくば市にある国土地理院の「地図と測量の科学館」で 1 月 5 日から開催される「第 25 回全国児童生徒地図優秀作品展」に出展し、最優秀作品は文部科学大臣賞及び国土交通大臣賞の候補作品として推薦しました。

また、黒部市立中央小学校 6 年生新村吉平さんの作品他 5 作品を「第 25 回全国児童生徒地図優秀作品展」へ出展しました。作品は、茨城県つくば市にある国土地理院「地図と測量の科学館」で 1 月 4 日から 2 月 20 日、ＮＨＫ大阪放送会館アトリウムで 2 月 25 日から 3 月 7 日まで展示されることになっています。

○国土交通大臣賞を受賞

とやまみんなの地図作品展にて最高賞である「とやま地図作品研究会長賞」を受賞した姫野さんの作品を「第25回全国児童生徒地図優秀作品展」に最優秀作品は文部科学大臣賞及び国土交通大臣賞の候補作品として推薦した結果、国土交通大臣賞を受賞しました。

1月12日に国土交通省（霞ヶ関）において斉藤国土交通大臣から直接表彰されました。なお、「とやま地図作品研究会」からは、平成30年に国土交通大臣賞、令和元年に文部科学大臣賞を受賞しています。

受賞作品は、つくば市と大阪市で開催される「第25回全国児童生徒地図優秀作品展」の展示に加え「霞ヶ関の国土交通省（合同庁舎3号館）で1月5日から12日、東京の科学技術館4階ギャラリーで1月13日から17日まで展示されることになっています。

会員の状況（令和3年12月末現在）

区　分	2.3末	3．12末	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正会員	５５７	５４２	－１５	255 (−10)	104 (−4)	133 (+2)	50 (−3)
準会員	1	1	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
特別会員	１７３	１７４	＋１	81 (−1)	39 (+1)	34 (0)	20 (+1)
合　計	７３１	７１７	－１４	336 (−11)	143 (−3)	167 (+2)	71 (−2)

令和４年度北陸支部事業計画（案）

本　部　主　催　講　習　会	場　所	時 期（期間）
基準点Ｂ課程（実習有）	新潟市	６月（５日間）
路線測量設計課程（Ⅰ）	富山市	５月（４日間）
基準点測量Ａ　基準点測量コース（実習無）	富山市	５月（７日間）
路線測量設計課程（Ⅱ）	富山市	９月（５日間）
防災調査課程（Ⅰ）	富山市	８月（５日間）
防災調査課程（Ⅰ）	富山市	11 月（４日間）

北　陸　支　部　主　催　講　習　会	場　所	時 期（期間）
基礎講座　測量数学・誤差学の基礎	富山市	４月（１日間）
路線測量・用地測量	金沢市	４月（１日間）
ネットワーク型ＲＴＫ法による基準点測量	新潟市	５月（１日間）
ＵＡＶ取得データを用いた写真測量と地形図作成	新潟市	６月（２日間）
ＵＡＶを用いた空中写真測量	金沢市	７月（１日間）
ＵＡＶ取得データを用いた災害地の計測調査	富山市	８月（１日間）
ＧＮＳＳによる基準点測量	富山市	８月（１日間）
電子基準点のみを既知点とする基準点測量及び GNSS 水準測量	金沢市	９月（１日間）
測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	新潟市	10 月（１日間）
ＵＡＶを用いた新たな計測技術とその利用	金沢市	11 月（１日間）
ＴＳによる３・４級基準点測	福井市	12 月（１日間）
測量士答案練習セミナー	富山市	３月（５日間）
測量士補答案練習セミナー	富山市	３月（４日間）

行　　事　　等	場　所	開催時期
北陸支部業務報告会	福井市	7月
北陸支部空間情報技術事例発表会	福井市	7月
北陸支部役員会	Web	6月 12月
公共測量品質管理優秀賞表彰	福井市	7月
公共測量講習会（測量計画機関対象）	新潟市	11月

講習会等については、場所あるいは時期等が変更になる場合があります。

１．北陸支部報
7月及び1月に本部ホームページへの掲載による刊行を行う。
２．北陸支部通信
会員への情報伝達手段として、メルマガ「北陸支部通信」を月１回配信する。
３．ホームページ（測量情報館）のＷｅｂサイト「支部からのお知らせ」
会員への情報伝達手段として、「支部からのお知らせ」欄を充実させ、活用を図っていく。

北陸支部では、空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報共有を図ることを目的として、令和４年度も「空間情報技術事例発表会」を開催します。

加えて、この発表会は、測量協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介することも目的の一つとなっていますので、北陸支部管内の技術者、学生の皆さんの積極的なご応募をお願いします。

応　募　概　要

１．募集内容

発表者自身の業務上の体験及び研究成果や日頃感じている問題点等の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）に関係した内容とする。

２．応募対象者

北陸支部管内の空間情報技術者又は空間情報関係の学生等で、概ね 40 才未満の者とする。

３．発表時間

一課題の発表は、質疑応答を含め 20 分以内とする（発表 15 分、質疑５分）

４．発表日時及び場所

日時：令和４年７月 12 日（火）14：00～

場所：福井県国際交流会館(福井市)

５．応募

⑴ 発表希望者は、３月末までに北陸支部事務局に所属、氏名、年齢、発表名を申し出る。

⑵ その後、発表の決定を受けた者は、５月末までに発表する内容の概要（要点：200～300 文字）を北陸支部事務局にメールで提出する。

⑶ 発表当日の資料(別途標準様式により作成)は、事前（10 日前まで）に北陸支部事務局にメールで提出する。

６．表彰

審査の結果、優れた発表者に対しては、賞状及び副賞を授与する。

《問合せ・応募先》

公益社団法人日本測量協会北陸支部　　担当：小高

〒939-8094　富山市大泉本町 1-12-14　測量会館

ＴＥＬ　076-422-3305　ＦＡＸ　076-422-3403

E-mail　hokuriku@jsurvey.jp

測量CPD及び技術者継続教育証明制度（SUCCESS）の登録、更新を行いましょう。

編集・発行　　公益社団法人　日本測量協会　北陸支部
〒939-8094　富山市大泉本町 1-12-14　（測量会館内）
○　事　務　局　・TEL 076（422）3305　・FAX 076（422）3403
E-mail　hokuriku@jsurvey.jp
○　技術センター　・TEL 076（421）5445　・FAX 076（422）3403
E-mail　hokuriku@geo.or.jp